



2023年5月2日

2023年度 第1四半期 決算レポート

1-3月実績（対2022年）

- ・ 売上収益は14.4%増の6,653億円
- ・ 為替一定ベースのcore revenueは6.2%増の5,946億円
- ・ 為替一定ベースの調整後営業利益は5.1%増の2,047億円
- ・ 財務報告ベースの調整後営業利益は14.6%増の2,234億円
- ・ 営業利益は15.7%増の2,064億円
- ・ 四半期利益は16.6%増の1,447億円

財務数値の詳細についてはP.9「データシート」をご参照ください。

代表取締役社長 寺富 正道 CEO コメント:

“JTグループは、この第1四半期、2022年度から引き続き好調なモメンタムを維持しています。堅調なプライシングにより、非常に力強い実績となりました。

ご案内の通り、将来に亘る利益成長のため2023年度においてはHTS（heated tobacco sticks）への投資を加速化する予定であり、英国に続き4月にはイタリアとロシアにおいてPloom Xを上市いたしました。今年度におけるHTS海外展開の準備は順調に進んでおり、ポルトガルにおいても5月半ばに上市を計画しております。

各国の規制動向、景気動向、為替変動等の不確定要素は存在しておりますが、経営理念である4Sモデル*に則り適切な経営判断を下し、JT Group Purpose**・各事業におけるPurposeに基づいた事業運営を通じて、グループ一丸となって通期業績見込み達成に向けて進んでまいります。”

* JTグループの経営理念である「4Sモデル」の追求は、「お客様を中心として、株主、従業員、社会の4者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、4者の満足度を高めていく」という考え方です。私たちは、「4Sモデル」の追求を通じ、中長年に亘る持続的な利益成長の実現を目指しています。この「4Sモデル」を追求していくことが、企業価値の継続的な向上につながり、4者のステークホルダーにとって共通利益となるベストなアプローチであると確信しております。

**自然・社会・個人の様々なスケールで非連続な変化が起こり、事業環境の不確実性・複雑性がますます高まっている状況下において、JTグループが持続的な存在であるための方向性を明確にするものとして、JT Group Purpose「心の豊かさをもっと。」を策定いたしました。

時代や人により、多様で、変化していく「心の豊かさ」の領域を、今後も社会から任せられ、貢献できる存在であり続けるため、絶えず進化してまいります。

投資家説明会

投資家説明会は、2023年5月2日、東京時間 17時00分より行います。

投資家説明会資料等については、JTウェブサイトからご覧いただけます。<https://www.jti.co.jp/investors/index.html>

超インフレ会計適用及びハイパーインフレーションに伴う調整について

当社グループは、2020年度第3四半期よりIAS第29号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの2022年度、2023年度実績及び2023年度見込みは超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績は、特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。なお、2023年度第1四半期時点では、エチオピア、イラン、スーダン、トルコが含まれています。

2023年度 第1四半期 全社及び事業別実績

全社実績

(億円)	2023年 1-3月	2022年 1-3月	増減率
売上収益	6,653	5,815	+14.4%
調整後営業利益	2,234	1,949	+14.6%
営業利益	2,064	1,784	+15.7%
四半期利益	1,447	1,241	+16.6%
為替一定ベース core revenue	5,946	5,596	+6.2%
為替一定ベース 調整後営業利益	2,047	1,949	+5.1%

2023年 1-3月

• 売上収益

売上収益については、たばこ事業及び医薬事業での増収に加えて、円安に伴うポジティブな為替影響により、前年同期比 14.4%増の 6,653 億円となりました。為替一定ベースの core revenue については、前年同期比 6.2%増の 5,946 億円となりました。

• 調整後営業利益

財務報告ベースの調整後営業利益については、全ての事業における増益に加えて、円安に伴うポジティブな為替影響により、前年同期比 14.6%増の 2,234 億円となりました。為替一定ベースについては、前年同期比 5.1%増の 2,047 億円となりました。

• 営業利益

営業利益については、調整後営業利益の増益により、前年同期比 15.7%増の 2,064 億円となりました。

• 四半期利益

四半期利益については、営業利益の増益及び法人税負担の減少が、金融損益の大幅な悪化を相殺したことにより、前年同期比 16.6%増の 1,447 億円となりました。

事業別実績

たばこ事業

(億円)	2023年 1-3月	2022年 1-3月	増減率
自社たばこ製品売上収益	5,791	5,020	+15.3% (+6.3%)*
調整後営業利益	2,251	1,973	+14.1% (+4.6%)*
参考 (億本、億円)			
総販売数量	1,302	1,285	+1.3%
Combustibles 販売数量	1,282	1,266	+1.2%
RRP 販売数量	20	20	+3.0%
RRP 関連売上収益	203	191	+6.4%

*為替一定ベース

2023年1-3月

• 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、継続的なシェアの伸張、combustibles における単価差影響の発現、RRP 関連売上収益の増加及び円安に伴うポジティブな為替影響により、前年同期と比べて増加しています。

財務報告ベースの自社たばこ製品売上収益は、Western Europe 及び EMA を中心としたポジティブな単価差/商品構成影響 321 億円が、ネガティブな数量差影響 5 億円を大きく上回ったことにより、前年同期と比べて 15.3%増加しました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、前年同期比 6.3%増加しています。RRP 関連売上収益は、日本における Ploom X の牽引により、前年同期比 6.4%の増加となりました。

財務報告ベースの調整後営業利益は、自社たばこ製品売上収益の増加がコストの上昇を上回り、前年同期比 14.1%増加しました。為替一定ベースの調整後営業利益は、前年同期比 4.6%増加しています。

• 販売数量及び市場シェア¹

総販売数量は、継続的なシェアの伸張及び RRP 販売数量の増加により、前年同期比 1.3%の増加となりました。RRP 販売数量は、日本における継続的な HTS の伸長により、前年同期比 3.0%増加しました。Combustibles 販売数量は、Asia 及び EMA の牽引により、前年同期比 1.2%の増加となりました。GFB 販売数量は、Winston 及び Camel の伸長（それぞれ+3.2%、+15.1%）により、MEVIUS は前年同期と同水準（-0.4%）であったものの、前年同期比 4.2%の増加となりました。

市場シェア²は、イタリア・日本・フィリピン・ロシア・台湾といった主要市場を中心に多くの市場で伸張しています。

たばこ事業
クラスター別 実績

Asia

(億円)	2023年 1-3月	2022年 1-3月	増減率
自社たばこ製品売上収益	1,962	1,929	+1.7% (-1.0%)*
調整後営業利益	758	757	+0.2% (0.5%)*

参考 (億本)

総販売数量	321	315	+2.1%
-------	-----	-----	-------

*為替一定ベース

● **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**

自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな為替影響により、前年同期比 1.7%増加しました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、日本及びマレーシアを中心にポジティブな数量差影響が発現したものの、日本を主因とするネガティブな単価差/商品構成影響により、前年同期比 1.0%減少しました。

調整後営業利益は、ポジティブな数量差影響及びコストの減少が、ネガティブな単価差/商品構成影響及び為替影響を上回り、前年同期比 0.2%増加しました。為替一定ベースの調整後営業利益は、前年同期と比べて 0.5%増加しました。

● **販売数量及び市場シェア¹**

総販売数量及びGFB販売数量は、多くの市場で市場シェアが伸張したことにより、前年同期比でそれぞれ 2.1%、9.1%増加しました。市場シェアは、バングラデシュ・日本・マレーシア・フィリピン・韓国・台湾において伸張しました。

● **市場別実績¹**

日本における総販売数量は、市場シェアの伸張及び総需要の増加により、前年同期比 4.5%の増加となりました。総需要は RRP の伸長及び combustibles における減少が一桁台前半に留まったことにより、前年同期と比べて増加しました。市場シェアは、前年同期比 0.6 パーセントポイント増の 42.7%になりました

Combustibles 販売数量は、combustibles カテゴリ内シェアの伸張が combustibles 総需要の減少を上回ったことにより、前年同期比 2.6%の増加となりました。Combustibles カテゴリ内シェアは、MEVIUS E-series 及び Camel Craft の牽引により、前年同期比 3.5 パーセントポイント増の 60.6%になりました。Combustibles 総需要は、前年同期と比べて 3.3%減少したものと推計しています。

RRP 販売数量は、前年同期と比べて 22.4%増加しました。RRP 市場占有率(出荷ベース)は、37.4%と推計しています。RRP カテゴリ内シェアは、前年同期比 0.7 パーセントポイント増の 12.7%になりました。Ploom X の販売数量は、前年同期と比べて 51.8%増加しました。HTS カテゴリ内シェアは引き続き伸張し、前年同期比 2.1 パーセントポイント増の 9.3%になりました。

自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響が発現したものの、ネガティブな単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ減少しました。

フィリピン²における総販売数量は、市場シェアの伸張が総需要の減少を相殺したことにより、前年同期と同水準になりました。GFB 販売数量は、Camel の伸長により、34.0%増加しました。市場シェアは、前年同期比 2.1 パーセントポイント増の 38.4%と推計しています。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ増加しました。

台湾²における総販売数量及び GFB 販売数量は、渡航制限の段階的な緩和に伴う総需要の減少により、前年同期と比べてそれぞれ 1.7%、2.3%減少しました。市場シェアは、Winston 及び LD の伸張により、前年同期比 1.3 パーセントポイント増の 50.0%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ネガティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ減少しました。

Western Europe

(億円)	2023 年 1-3 月	2022 年 1-3 月	増減率
自社たばこ製品売上収益	1,405	1,252	+12.2% (+4.7%)*
調整後営業利益	647	612	+5.8% (+3.3%)*

参考 (億円)

総販売数量	261	275	-5.2%
-------	-----	-----	-------

*為替一定ベース

- 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**

自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな為替影響により、前年同期比 12.2%増加しました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、主にドイツ・スペイン・英国で発現したポジティブな単価差/商品構成影響が、アイルランド・スペイン・英国を中心に発現したネガティブな数量差影響を上回ったことにより、前年同期比 4.7%増加しました。

調整後営業利益は、自社たばこ製品売上収益の増加及びポジティブな為替影響により、前年同期比 5.8%増加しました。為替一定ベースの調整後営業利益は、前年同期比 3.3%増加しました。

- 販売数量及び市場シェア¹**

総販売数量は、英国を中心とした多くの市場における総需要の減少により、前年同期と比べて 5.2%減少しました。GFB 販売数量は、Winston 及び Camel の市場シェアが伸張したものの、前年同期と比べて 2.1%減少しました。市場シェアは、ベルギー・フランス・ドイツ・イタリア・ルクセンブルク・オランダにおいて伸張しました。

- 市場別実績¹**

イタリアにおける総販売数量は、増税に伴う一時的な需要増加により、前年同期と比べて 1.3%増加しました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、前年同期と比べて 4.8%増加しました。GFB 販売数量は、Winston の伸長により、前年同期比 1.5%増加しました。市場シェアは、前年同期比 0.3 パーセントポイント増の 23.1%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響があったものの、ネガティブな単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ減少しました。

スペインにおける総販売数量は、総需要の減少により、前年同期と比べて 6.2%減少しました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、前年同期比 2.1%の減少となりました。GFB 販売数量は Winston 及び Camel の減少により、前年同期比 6.8%減少しました。市場シェアは、前年同期比 0.1 パーセントポイント減の 28.0%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響がネガティブな数量差影響を上回り、前年同期と比べ増加しました。

英国における総販売数量は、渡航制限の緩和及び増税に伴う値上げにより総需要が減少したことで、前年同期と比べて 17.1%減少しました。市場シェアは、Benson & Hedges の伸張はあるものの、前年同期比 0.4 パーセントポイント減の 44.3%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな単価差/商品構成影響がネガティブな数量差影響を上回り、前年同期と比べて増加しました。

EMA

(億円)	2023 年 1-3 月	2022 年 1-3 月	増減率
自社たばこ製品売上収益	2,424	1,839	+31.8% (+15.1%)*
調整後営業利益	846	604	+40.0% (+11.3%)*

参考 (億本)

総販売数量	720	696	+3.4%
-------	-----	-----	-------

*為替一定ベース

• 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな為替影響により、前年同期比 31.8%増加しました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、エジプト・Global Travel Retail・ルーマニアを中心に発現したポジティブな数量差影響及びカナダ・イラン・カザフスタン・ポーランド・ロシア・トルコを中心に発現したポジティブな単価差/商品構成影響により、前年同期比 15.1%増加しました。

調整後営業利益は、自社たばこ製品売上収益の増加及びポジティブな為替影響がサプライチェーン関連コストの増加を上回り、前年同期比 40.0%増加しました。為替一定ベースの調整後営業利益は、前年同期比 11.3%増加しました。

• 販売数量及び市場シェア¹

総販売数量及び GFB 販売数量は、主にブラジル・エジプト・Global Travel Retail・ヨルダン・ルーマニア・トルコにおける増加により、前年同期と比べてそれぞれ 3.4%、4.7%増加しました。市場シェアは、アゼルバイジャン・ブラジル・カナダ・チェコ・イラン・ヨルダン・レバノン・モロッコ・ロシア・南アフリカ・タンザニア・米国において伸張しました。

• 市場別実績¹

ルーマニアにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、Camel の大幅な伸長により、前年同期と比べてそれぞれ 5.7%、19.9%増加しました。市場シェアは、Camel の伸張があったものの、前年同期比 0.5 パーセントポイント減の 27.5%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べて増加しました。

ロシアにおける総販売数量は、増税に伴う値上げ等により総需要³が減少したことで、前年同期と比べて 4.5%減少しました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、前年同期比 2.7%の減少となりました。総需要は、前年同期と比べて 2.9%減少したものと推計しています。GFB 販売数量は、Winston 及び Camel の伸長があったものの、前年同期と比べて 1.3%減少しました。市場シェアは、Camel 及び Sobranie の伸張はあるものの、前年同期と同水準の 36.5%になりました。

為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、増税に伴う値上げ等により発現したポジティブな単価差/商品構成影響がネガティブな数量差影響を上回ったことで、前年同期と比べて増加しました。

トルコ²における総販売数量は、前年との有利な比較により総需要が増加したことで、前年同期と比べて7.7%増加しました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、前年同期比10.7%の増加となりました。GFB販売数量は、Winston及びCamelの伸長により、前年同期と比べて8.8%増加しました。市場シェアは、Camel及びLDの減少により、前年同期比0.8パーセントポイント減の27.2%になりました。為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べて増加しました。

¹ 出典：市場シェアは、IRI、Logista、Nielsen、Panel Strator及びJTグループ内部データ等。特に言及がない限り、市場シェアは2023年1月から3月までの平均ベース。3ヵ月平均市場シェアの増減算出の比較対象は前年同期との比較。なお、ブラジル・チェコ・ドイツ・ヨルダン・レバノン・フィリピン・ルーマニア・スペイン・タンザニアは2023年1月から2月までの平均ベース。

² 今四半期より、全ての市場において、市場シェアはCombustibles及びHTP（Heated tobacco products）の総需要を基に算出（フィリピン・台湾・トルコの市場シェアはcombustiblesのみ。日本及びロシアについては変更なし）。

³ 出典：JTグループ内部データ。RMC及びHTSを対象とする2023年1-3月期の対前年同期比較。

医薬事業

(億円)	2023年 1-3月	2022年 1-3月	増減
売上収益	249	213	+36
調整後営業利益	69	46	+24

2023年 1-3月

• 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、導出品のライセンス契約に伴う一時金収入及び当社の連結子会社である鳥居薬品の増収により、前年同期比で増収となりました。

調整後営業利益については、売上収益の増収が、研究開発費の増加を上回り、前年同期比で増益となりました。

加工食品事業

(億円)	2023年 1-3月	2022年 1-3月	増減
売上収益	356	357	-1
調整後営業利益	14	4	+10

2023年 1-3月

• 売上収益及び調整後営業利益

売上収益については、ベーカリー事業の譲渡による売上収益の剥落があるものの、前年度に実施した価格改定に加え、外食需要の回復による売上収益の増収により、前年同期と同水準となりました。

調整後営業利益については、前年度から続く大幅な原材料費等の悪化を価格改定効果が相殺し、加えて外食需要の回復による売上収益の増収影響もあり、前年同期比で増益となりました。

データシート

2023年度 第1四半期実績

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2023 Q1	2022 Q1	増減	増減率
売上収益	6,653	5,815	+838	+14.4%
営業利益	2,064	1,784	+280	+15.7%
調整後営業利益	2,234	1,949	+285	+14.6%
税引前利益	1,831	1,747	+84	+4.8%
四半期利益	1,447	1,241	+206	+16.6%
基本的EPS* (円)	81.52	69.94	+11.58	+16.6%

*四半期利益を基に算定

(参考)

(単位：億円)

	2023 Q1	2022 Q1	増減	増減率
為替一定ベース core revenue	5,946	5,596	+349	+6.2%
為替一定ベース調整後営業利益	2,047	1,949	+98	+5.1%

2. 事業セグメント別実績

(単位：億円)

	2023 Q1	2022 Q1	増減	増減率
全社 売上収益	6,653	5,815	+838	+14.4%
たばこ事業	6,043	5,239	+804	+15.3%
自社たばこ製品売上収益	5,791	5,020	+770	+15.3%
医薬事業	249	213	+36	+17.1%
加工食品事業	356	357	-1	-0.2%
その他	4	6	-2	-27.5%
全社 営業利益	2,064	1,784	+280	+15.7%
たばこ事業	2,088	1,813	+274	+15.1%
医薬事業	69	46	+24	+51.6%
加工食品事業	13	3	+10	+313.7%
その他/消去	-106	-79	-27	-
調整合計	-170	-165	-4	
たばこ事業	-164	-160	-4	
医薬事業	-	-	-	
加工食品事業	-1	-1	-0	
その他/消去	-5	-4	-1	
全社 調整後営業利益	2,234	1,949	+285	+14.6%
たばこ事業	2,251	1,973	+278	+14.1%
医薬事業	69	46	+24	+51.6%
加工食品事業	14	4	+10	+242.2%
その他/消去	-101	-74	-27	-

2023年度 第1四半期実績

3. 減価償却費及び償却費*

(単位：億円)

	2023 Q1	2022 Q1	増減
全社 減価償却費及び償却費	366	412	-46
たばこ事業	337	380	-43
医薬事業	10	12	-2
加工食品事業	16	16	-0
その他/消去	4	4	-0

*リース取引に係る減価償却費を除く

4. 連結財政状態データ

(単位：億円)

	2023年3月末	2022年12月末	増減
資産合計	63,466	65,481	-2,015
資本合計	35,862	36,168	-305
親会社の所有者に帰属する持分	35,073	35,404	-331
1株当たり親会社所有者帰属持分 (円)	1,976.03	1,994.78	-18.75

5. 手元流動性及び有利子負債

(単位：億円)

	2023年3月末	2022年12月末	増減
手元流動性	6,902	8,804	-1,902
有利子負債	9,750	9,583	+167

6. 連結キャッシュフロー・データ

(単位：億円)

	2023 Q1	2022 Q1	増減
営業キャッシュフロー	557	390	+167
投資キャッシュフロー	-417	-227	-190
財務キャッシュフロー	-1,964	-1,168	-796
現金及び現金同等物の期首残高	8,669	7,217	+1,452
現金及び現金同等物に係る換算差額等	-193	340	-533
現金及び現金同等物の期末残高	6,652	6,553	+99
FCF	262	184	+78

7. 資本的支出

(単位：億円)

	2023 Q1	2022 Q1	増減
資本的支出	218	146	+73
たばこ事業	178	108	+70
医薬事業	25	2	+23
加工食品事業	10	20	-11
その他/消去	5	15	-10

8. 為替

	2023 Q1	2022 Q1	増減	増減率
100円/USD	0.76	0.86	-0.10	13.8%高
100円/RUB	54.96	73.74	-18.78	34.2%高
100円/GBP	0.62	0.64	-0.02	3.0%高
100円/EUR	0.70	0.77	-0.06	8.8%高
100円/CHF	0.70	0.79	-0.10	13.6%高
100円/TWD	22.96	24.05	-1.09	4.7%高
100円/TRY	*	11.95	*	*
100円/PHP	41.43	44.29	-2.87	6.9%高

*IAS第29号に定められる要件に従い、超インフレ経済下にある子会社の財務諸表を日本円へ換算する際には、2023年3月末日レートを適用。

(100円/TRY : 14.34 100円/USD : 0.75)

2023年度見込
(2023/2/14公表)

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2023 見込	2022 実績	増減	増減率
売上収益	26,290	26,578	-288	-1.1%
営業利益	6,120	6,536	-416	-6.4%
調整後営業利益	6,670	7,278	-608	-8.4%
当期利益	4,400	4,427	-27	-0.6%

(参考)

(単位：億円)

	2023 見込	2022 実績	増減	増減率
為替一定ベース core revenue	26,060	25,557	+503	+2.0%
為替一定ベース調整後営業利益	7,280	7,278	+2	+0.0%

2. EPS・配当金・ROE

(単位：円)

	2023 見込	2022 実績	増減	増減率
基本的EPS*	247.91	249.45	-1.54	-0.6%
1株当たり配当金	188	188	-	-
ROE*	12.4%	13.9%	-1.5ppt	

*基本的EPS/ROEは当期利益を基に算定

3. 事業セグメント別見込

(単位：億円)

	2023 見込	2022 実績	増減	増減率
全社 売上収益	26,290	26,578	-288	-1.1%
たばこ事業	23,900	24,174	-274	-1.1%
自社たばこ製品売上収益	22,930	23,152	-222	-1.0%
医薬事業	895	829	+66	+8.0%
加工食品事業	1,475	1,555	-80	-5.2%
その他	20	20	-	+1.2%
全社 営業利益	6,120	6,536	-416	-6.4%
たばこ事業	6,360	6,794	-434	-6.4%
医薬事業	135	111	+24	+21.1%
加工食品事業	40	42	-2	-4.1%
その他/消去	-415	-411	-4	-
全社 調整後営業利益	6,670	7,278	-608	-8.4%
たばこ事業	6,960	7,540	-580	-7.7%
医薬事業	135	111	+24	+21.1%
加工食品事業	40	35	+5	+14.0%
その他/消去	-465	-409	-56	-

2023年度見込
(2023/2/14公表)

4. FCF

(単位：億円)

	2023 見込	2022 実績	増減
FCF	4,020	3,829	+191

5. 資本的支出

(単位：億円)

	2023 見込	2022 実績	増減
資本的支出	1,300	1,010	+290
たばこ事業	1,075	838	+237
医薬事業	50	24	+26
加工食品事業	110	82	+28
その他/消去	65	66	-1

6. 業績予想の主な前提条件

○ たばこ事業

- ・ 2023年の総販売数量：対前年で1.5%~2%程度の減少(2022年の総販売数量は5,273億本)
- ・ 2023年のGFB販売数量：対前年で0.5%~1.0%程度の減少(2022年のGFB販売数量は3,624億本)

<為替前提レート>

	2023 見込	2022 実績	増減	増減率
100円/USD	0.77	0.76	+0.01	1.3%安
100円/RUB	53.80	53.06	+0.74	1.4%安
100円/GBP	0.64	0.62	+0.02	3.5%安
100円/EUR	0.73	0.73	+0.00	0.7%安
100円/CHF	0.72	0.73	-0.01	1.3%高
100円/TWD	23.85	22.72	+1.13	4.8%安
100円/TRY	-	*	-	-
100円/PHP	43.00	41.55	+1.45	3.4%安

*IAS第29号に定められる要件に従い、超インフレ経済下にある子会社の財務諸表を日本円へ換算する際には、2022年12月末日レートを適用。
超インフレ会計適用に伴い実績のみ記載。(100円/TRY：14.09 100円/USD：0.75)

たばこ事業データ

1. サマリー

2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	
総販売数量	1,302				1,302	億本
(前年同期比)	+1.3%				+1.3%	
Combustibles販売数量	1,282				1,282	億本
(前年同期比)	+1.2%				+1.2%	
GFB販売数量	910				910	億本
(前年同期比)	+4.2%				+4.2%	
RRP販売数量	20				20	億本
(前年同期比)	+3.0%				+3.0%	
自社たばこ製品売上収益	5,791				5,791	億円
(前年同期比)	+15.3%				+15.3%	
	(+6.3%)*				(+6.3%)*	
RRP関連売上収益	203				203	億円
(前年同期比)	+6.4%				+6.4%	
調整後営業利益	2,251				2,251	億円
(前年同期比)	+14.1%				+14.1%	
	(+4.6%)*				(+4.6%)*	

*為替一定ベース

2. 自社たばこ製品売上収益実績 要因

(億円)

	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2022	5,020				5,020
数量差	-5				-5
単価差/Mix	+321				+321
2023為替一定	5,336				5,336
FX	+455				+455
2023	5,791				5,791

3. 調整後営業利益実績 要因

(億円)

	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2022	1,973				1,973
数量差	-30				-30
単価差/Mix	+324				+324
その他	-203				-203
2023為替一定	2,065				2,065
FX	+186				+186
2023	2,251				2,251

たばこ事業データ

4. クラスター別構成 (前年同期比)

販売数量

(億本)

Asia	2023 Q1		2023 Q2	2023 Q3	2023 Q4	YTD	
総販売数量	321	+2.1%				321	+2.1%
GFB販売数量	204	+9.1%				204	+9.1%
Western Europe	2023 Q1		2023 Q2	2023 Q3	2023 Q4	YTD	
総販売数量	261	-5.2%				261	-5.2%
GFB販売数量	183	-2.1%				183	-2.1%
EMA	2023 Q1		2023 Q2	2023 Q3	2023 Q4	YTD	
総販売数量	720	+3.4%				720	+3.4%
GFB販売数量	523	+4.7%				523	+4.7%

財務

(億円)

Asia	2023 Q1		2023 Q2	2023 Q3	2023 Q4	YTD	
自社たばこ製品売上収益	1,962	+1.7%				1,962	+1.7%
		(-1.0%)*					(-1.0%)*
調整後営業利益	758	+0.2%				758	+0.2%
		(+0.5%)*					(+0.5%)*
Western Europe	2023 Q1		2023 Q2	2023 Q3	2023 Q4	YTD	
自社たばこ製品売上収益	1,405	+12.2%				1,405	+12.2%
		(+4.7%)*					(+4.7%)*
調整後営業利益	647	+5.8%				647	+5.8%
		(+3.3%)*					(+3.3%)*
EMA	2023 Q1		2023 Q2	2023 Q3	2023 Q4	YTD	
自社たばこ製品売上収益	2,424	+31.8%				2,424	+31.8%
		(+15.1%)*					(+15.1%)*
調整後営業利益	846	+40.0%				846	+40.0%
		(+11.3%)*					(+11.3%)*

*為替一定ベース

たばこ事業データ

5. クラスタ別自社たばこ製品売上収益実績 要因

(億円)

Asia	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2022	1,929				1,929
数量差	+44				+44
単価差/Mix	-64				-64
2023為替一定	1,909				1,909
FX	+52				+52
2023	1,962				1,962
Western Europe	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2022	1,252				1,252
数量差	-86				-86
単価差/Mix	+145				+145
2023為替一定	1,311				1,311
FX	+94				+94
2023	1,405				1,405
EMA	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2022	1,839				1,839
数量差	+36				+36
単価差/Mix	+241				+241
2023為替一定	2,116				2,116
FX	+308				+308
2023	2,424				2,424

6. クラスタ別調整後営業利益実績 要因

(億円)

Asia	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2022	757				757
数量差	+37				+37
単価差/Mix	-62				-62
その他	+29				+29
2023為替一定	761				761
FX	-2				-2
2023	758				758
Western Europe	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2022	612				612
数量差	-99				-99
単価差/Mix	+160				+160
その他	-41				-41
2023為替一定	632				632
FX	+15				+15
2023	647				647
EMA	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
2022	604				604
数量差	+32				+32
単価差/Mix	+227				+227
その他	-191				-191
2023為替一定	672				672
FX	+173				+173
2023	846				846

たばこ事業データ

7. ブランド別 GFB販売数量 (前年同期比)

(億本)

2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
Winston	462 +3.2%				462 +3.2%
Camel	232 +15.1%				232 +15.1%
MEVIUS	108 -0.4%				108 -0.4%
LD	108 -6.8%				108 -6.8%

8. 実績為替レート (前年同期比)

2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD
100JPY/USD	0.76 13.8%高				0.76 13.8%高
100JPY/RUB	54.96 34.2%高				54.96 34.2%高
100JPY/GBP	0.62 3.0%高				0.62 3.0%高
100JPY/EUR	0.70 8.8%高				0.70 8.8%高
100JPY/CHF	0.70 13.6%高				0.70 13.6%高
100JPY/TWD	22.96 4.7%高				22.96 4.7%高
100JPY/TRY	*				*
100JPY/PHP	41.43 6.9%高				41.43 6.9%高

現地通貨vs 円増減率：(前年同期の現地通貨レート/各期の現地通貨レート) -1で算出

IAS第29号に定められる要件に従い、超インフレ経済下にある子会社の財務諸表を日本円へ換算する際には、2023年3月末日レートを適用。

(100円/TRY：14.34、参考100円/USD：0.75)

たばこ事業データ

9. Key markets

Source: IRI, Logista, Nielsen, Panel Strator及びJTグループ内部データ / 出典の過去データ修正も反映しています。

フィリピン・ルーマニア・スペインに関するシェアは2023年1月から2月までの平均ベースです。

シェアは、combustibles及びheated tobacco products (HTP) のたばこ総需要に基づいて計算しております。

日本

Volume evolution

						(億本)	
2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD		
総販売数量	151				151		
	+4.5%				+4.5%		
Combustibles販売数量	134				134		
	+2.6%				+2.6%		
RRP販売数量	17				17		
	+22.4%				+22.4%		
HTS販売数量	12				12		
	+51.8%				+51.8%		

Share evolution

2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM	42.7%				42.7%	+0.6ppt
Combustibles SoM	38.0%				38.0%	-0.1ppt
GFB (SoM)	26.5%				26.5%	+0.7ppt
Winston (SoM)	3.9%				3.9%	-0.6ppt
MEVIUS (SoM)	16.8%				16.8%	-1.0ppt
Seven Stars (SoM)	4.7%				4.7%	-0.2ppt
Camel (SoM)	5.9%				5.9%	+2.3ppt
RRP SoM*	4.8%				4.8%	+0.8ppt
HTS SoS	9.3%				9.3%	+2.1ppt
Total SoV	42.8%				42.8%	-0.1ppt

*RRP SoMは、heated tobacco sticks (HTS) 及び infused tobacco capsules (Infused) の市場シェア

フィリピン*

Volume evolution

						(億本)	
2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD		
総販売数量	69				69		
	+0.0%				+0.0%		

Share evolution

2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM	38.4%				38.4%	+2.1ppt
GFB (SoM)	16.7%				16.7%	+4.1ppt
Winston (SoM)	10.4%				10.4%	-0.1ppt
Camel (SoM)	6.2%				6.2%	+4.2ppt
Total SoV	35.9%				35.9%	+1.9ppt

*SoM及びSoVは、combustiblesのみの市場シェア

台湾*

Volume evolution

						(億本)	
2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD		
総販売数量	35				35		
	-1.7%				-1.7%		

Share evolution

2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM	50.0%				50.0%	+1.3ppt
GFB (SoM)	40.8%				40.8%	+0.7ppt
Winston (SoM)	14.1%				14.1%	+0.4ppt
LD (SoM)	7.7%				7.7%	+0.3ppt
MEVIUS (SoM)	18.9%				18.9%	-0.0ppt
Total SoV	54.0%				54.0%	+1.0ppt

*SoM及びSoVは、combustiblesのみの市場シェア

たばこ事業データ

イタリア

Volume evolution

					(億本)	
2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	
総販売数量	48				48	
	+1.3%				+1.3%	

Share evolution

2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM	23.1%				23.1%	+0.3ppt
GFB (SoM)	19.4%				19.4%	+0.4ppt
Winston (SoM)	12.7%				12.7%	+0.9ppt
Camel (SoM)	6.6%				6.6%	-0.5ppt
Total SoV	23.0%				23.0%	+0.3ppt

スペイン

Volume evolution

					(億本)	
2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	
総販売数量	37				37	
	-6.2%				-6.2%	

Share evolution

2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM	28.0%				28.0%	-0.1ppt
GFB (SoM)	25.9%				25.9%	-0.1ppt
Winston (SoM)	14.8%				14.8%	+0.1ppt
Camel (SoM)	11.0%				11.0%	-0.2ppt
Total SoV	27.7%				27.7%	-0.2ppt

英国

Volume evolution

					(億本)	
2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	
総販売数量	40				40	
	-17.1%				-17.1%	

Share evolution

2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM	44.3%				44.3%	-0.4ppt
GFB (SoM)	0.1%				0.1%	-0.0ppt
Amber Leaf (SoM)	10.4%				10.4%	-1.2ppt
Sterling (SoM)	12.9%				12.9%	-0.7ppt
Benson & Hedges (SoM)	11.2%				11.2%	+1.0ppt
Total SoV	45.0%				45.0%	-0.5ppt

たばこ事業データ

ルーマニア

Volume evolution

						(億本)
2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	
総販売数量	17				17	
	+5.7%				+5.7%	

Share evolution

2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM	27.5%				27.5%	-0.5ppt
GFB (SoM)	17.3%				17.3%	+1.2ppt
Winston (SoM)	12.3%				12.3%	-1.8ppt
Camel (SoM)	4.6%				4.6%	+3.4ppt
Total SoV	28.3%				28.3%	-0.6ppt

ロシア

Volume evolution

						(億本)
2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	
総販売数量	176				176	
	-4.5%				-4.5%	

Share evolution

2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM	36.5%				36.5%	+0.0ppt
GFB (SoM)	27.7%				27.7%	+0.5ppt
Winston (SoM)	11.8%				11.8%	-0.2ppt
Camel (SoM)	8.2%				8.2%	+0.9ppt
LD (SoM)	7.5%				7.5%	-0.1ppt
Total SoV	37.7%				37.7%	+0.4ppt

トルコ*

Volume evolution

						(億本)
2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	
総販売数量	72				72	
	+7.7%				+7.7%	

Share evolution

2023	Q1	Q2	Q3	Q4	YTD	Var.
Total SoM	27.2%				27.2%	-0.8ppt
GFB (SoM)	25.0%				25.0%	-0.5ppt
Winston (SoM)	17.2%				17.2%	+0.6ppt
Camel (SoM)	5.7%				5.7%	-0.8ppt
LD (SoM)	2.1%				2.1%	-0.3ppt
Total SoV	26.5%				26.5%	-0.6ppt

*SoM及びSoVは、combustiblesのみの市場シェア

医薬事業 臨床開発品目一覧 (2023年5月2日)

<自社開発品>

開発番号 (一般名)	想定する 適応症/剤形	作用機序		開発段階 (実施地域)	起源	備考
JTE-052 (delgocitinib)	自己免疫・アレルギー疾患 /経口・外用	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase1 (国内)	自社品	
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ITK阻害	免疫反応に関与しているT細胞を活性化 するシグナルを阻害し、過剰な免疫反応 を抑制する	Phase2 (国内)	自社品	
				Phase2 (海外)		
JTT-662	2型糖尿病 /経口	SGLT1阻害	SGLT1を阻害し、食後高血糖の是正及び血糖値の正常化を行う	Phase1 (海外)	自社品	
JTT-861	慢性心不全 /経口	PDHK阻害	糖代謝に関与するピルビン酸脱水素酵素(PDH)を活性化し、心機能を改善する	Phase1 (海外)	自社品	
JTE-061 (tapinarof)	アトピー性皮膚炎 /外用	AhR モジュレーター	アリル炭化水素受容体(AhR)を活性化し、皮膚の炎症を抑制する	Phase3 (国内)	導入品	・ Dermavant Sciences GmbH社から導入 ・ 鳥居薬品と共同開発
	尋常性乾癬 /外用			Phase3 (国内)		
	小児アトピー性皮膚炎 /外用			Phase2 (国内)		
JTC-064	神経変性疾患 /経口	PDHK阻害	ピルビン酸脱水素酵素(PDH)を活性化し、代謝異常を是正する	Phase1 (海外)	自社品	
JTV-161	肺動脈性肺高血圧症 /経口	Pim-1阻害	Pim-1を阻害し、肺血管細胞の異常増殖を抑制する	Phase1 (海外)	自社品	

(※) 開発段階の表記は投薬開始を基準としています。

(※) 掲載以外に、将来の剤型追加の可能性を検討するための臨床試験を行っています。

<導出品>

一般名等 (当社開発番号)	導出先	作用機序		備考
trametinib	Novartis社	MEK阻害	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化酵素MEKの働きを阻害することにより、細胞増殖を抑制する	
抗ICOS抗体	AstraZeneca社	ICOSアンタゴニスト	T細胞の活性化に関与しているICOSの働きを阻害し、免疫反応を抑制する	
delgocitinib	LEO Pharma社 ロート製薬社	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	
enarodustat	JW Pharmaceutical社 Salubris社	HIF-PH阻害	HIF-PHを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	

前回公表時(2023年2月14日)からの変更点

・ JTV-161 (肺動脈性肺高血圧症/経口): 新規臨床入り (海外Phase1)

用語の定義

用語	定義
売上収益	たばこ税及びその他の代理取引取扱高を除いた売上収益
為替一定ベース core revenue	前年同期の為替レートをを用いて換算／算出することにより為替影響を除いた自社たばこ製品売上収益 + 医薬事業・加工食品事業・その他の売上収益。ただし、為替一定ベースの実績は追加的に提供しているものであり、国際財務報告基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではない
調整後営業利益	営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目（収益及び費用）* *調整項目（収益及び費用） = のれんの減損損失 ± リストラチャリング収益及び費用等
為替一定ベース	前年同期の為替レートをを用いて換算／算出することにより、為替影響を除いた指標。ただし、為替一定ベースの実績は追加的に提供しているものであり、国際財務報告基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではない
四半期利益／当期利益	親会社の所有者に帰属する四半期利益／当期利益
自社たばこ製品売上収益	物流事業／製造受託等を除く売上収益
RRP 関連売上収益	自社たばこ製品売上収益の内訳としての、デバイス／関連アクセサリ等を含む Reduced-Risk Products の売上
Combustibles	製造受託／水たばこ／加熱式たばこ／無煙たばこ／E-Vapor を除く可燃性のたばこ製品
RMC	紙巻たばこ（Ready-Made-Cigarettes）
Fine cut tobacco (FCT)	一般的にお客様ご自身で、巻紙を用いて手巻きする、または、器具と筒状の巻紙を用いて RMC を作成するための刻みたばこ
シガリロ	たばこ葉を原料とする巻紙を使い、RMC と同様の形態に巻き上げた製品。日本マーケットにおいてはリトルシガーとも呼ばれ、たばこ事業法上「葉巻たばこ」に分類される
Reduced-Risk Products (RRP)	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品。当社製品ポートフォリオにおける heated tobacco sticks (HTS), infused tobacco capsules (Infused), E-Vapor, 無煙たばこ製品等が含まれる
Heated tobacco products (HTP) / 加熱式たばこ	たばこ葉を使用し、たばこ葉を燃焼させずに、加熱等によって発生するたばこペーパー（たばこ葉由来の成分を含む蒸気）を愉しむ製品
Heated tobacco sticks (HTS)	高温加熱型の加熱式たばこ。1 スティック = RMC1 本として換算
Infused tobacco capsules (Infused)	低温加熱型の加熱式たばこ。1 パック当たり RMC20 本として換算
E-Vapor / 電子たばこ	たばこ葉を使用せず、装置内もしくは専用カートリッジ内のリキッド（液体）を電気加熱させ、発生するペーパー（蒸気）を愉しむ製品。クローズドタンク製品においては、1 カプセル当たり RMC20 本として換算。オープンタンク製品においては、リフィル 10ml 当たり RMC100 本として換算
無煙たばこ	口腔内で味・香りを楽しむたばこ製品（日本では嗅ぎたばこに分類）で、粉状にしたたばこ葉を包んだポーションと呼ばれる袋を口に含むものは Snus、たばこ葉を使わずニコチンを含んだパウチを口腔内で楽しむニコチンパウチと呼ぶ。Snus 及びニコチンパウチ 1 パウチ = RMC1 本として換算

GFB (Global Flagship Brands)	Winston、Camel、MEVIUS、LD の4ブランドが含まれる
総販売数量	水たばこ／製造受託／RRP デバイス及び関連アクセサリを除くたばこ製品の販売数量
Combustibles 販売数量	水たばこ／E-Vapor／無煙たばこ (Snus・ニコチンパウチ) ／加熱式たばこ／製造受託を除くたばこ製品の販売数量
GFB 販売数量	GFB (Global Flagship Brand) に含まれる Winston、Camel、MEVIUS、LD の Combustibles 及び Snus 製品の販売数量
RRP 販売数量	Reduced-Risk Products (RRP)の販売本数 (RMCとして換算)。デバイス／関連アクセサリ等は含まない
HTS 販売数量	Heated tobacco sticks (HTS)の販売本数。デバイス／関連アクセサリ等は含まない
売上シェア (SoV)	販売数量と税込小売価格を掛け合わせて算出される、市場の総小売価格に対するシェア
たばこ総需要／総需要	市場全体におけるたばこ製品の本数ベースの市場規模 (自社推計)
Combustibles 総需要	市場全体における Combustibles の本数ベースの市場規模 (自社推計)
RRP 総需要	市場全体における Reduced-Risk Products (RRP)の本数ベース (RMCとして換算) の市場規模 (自社推計)
クラスター	<p>JT グループのたばこ事業をより深く理解していただくために、同事業を3地域 (Asia, Western Europe, EMA) に区分けした。なお、これらのクラスターは、JT グループの経営体制を反映したものではない</p> <ul style="list-style-type: none"> Asia : 日本を含むアジア全域 Western Europe (WE) : 西欧地域 EMA : 東欧、中近東、アフリカ、トルコ、南北アメリカ大陸及び Global Travel Retail を含む
Global Travel Retail (GTR)	従来の国内たばこ事業と海外たばこ事業の免税市場を統合した呼称。GTR でのパフォーマンスは、EMA クラスターに含まれる。
手元流動性	現預金 + 短期保有の有価証券 + 現先
有利子負債	短期借入金 + コマーシャルペーパー + 長期借入金 + 社債
フリー・キャッシュ・フロー (FCF)	<p>営業活動キャッシュ・フロー + 投資活動キャッシュ・フロー ただし以下を除く</p> <ul style="list-style-type: none"> 営業活動キャッシュ・フローから、リース取引から生じる減価償却費／利息及び配当金の受取額とその税額影響／リース取引以外から生じる利息の支払額とその税額影響／その他 投資活動キャッシュ・フローから、事業投資以外に係る、投資の取得による支出／投資の売却及び償還による収入／定期預金の預入による支出／定期預金の払出による収入／その他

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・行動の変化及び需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動
- (10) 自然災害及び不測の事態等

お問い合わせ先

日本たばこ産業株式会社 IR 広報部
東京都港区虎ノ門4-1-1

投資家の皆様はこちら：jt.ir@jt.com

メディアの皆様はこちら：jt-kouhou@jt.com